

二セ電話詐欺の認知状況(令和5年4月末)

～前年より増加傾向(特に架空料金請求詐欺が増加中)～

1 県内の二セ電話詐欺の認知状況(令和5年4月末) ※数値については暫定値

- 被害認知件数は**42件**(前年同期比**+4件**)
- 被害総額は**約8,044万円**(前年同期比**-約4,058万円**)

2 令和5年4月の認知状況

- 被害認知件数は**13件**(前年同月比**+3件**)
- 被害額は**約1,428万円**(前年同月比**-約1,924万円**)
- 手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺～8件
 - ・ キャッシュカード詐欺盗～2件
 - ・ 預貯金詐欺～1件
 - ・ 融資保証金詐欺～1件
 - ・ 金融商品詐欺～1件

3 県内の二セ電話詐欺の傾向

3月に引き続き、4月中も市役所職員・大手携帯電話会社・警察官・民生委員などを装った不審電話が多発しています。

民生委員を装った不審電話の一例として、

○○市の民生委員です。

一人暮らしですか?何か困ったことはありませんか?

などと質問し、あたかも本当の民生委員が住民を心配しているかのような電話に聞こえますが、これは犯行のターゲットを探すために家族構成を確認している可能性があります。

このような電話があっても、安易に個人情報回答せず、ナンバーディスプレイ機能を活用して相手の確認をとるように心掛けましょう。

最近では、在宅時間帯を狙って休日や夜間に不審電話がかかってくる傾向が高まっています。少しでも不審な点があれば、一度電話を切り、家族や警察に相談しましょう。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和5年4月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	1	2	3
30～39	1	-	1
40～49	1	1	2
50～59	-	3	3
60～64	4	2	6
65～69	2	3	5
70～79	8	5	13
80～89	4	5	9
90～	-	-	-
合計	21	21	42
うち65歳以上の高齢者	14	13	27

～二セ電話詐欺の被害金交付形態～

交付形態	令和5年4月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	9
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	1
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	26
キャッシュカード手交型	2
収納代行利用型(コンビニ決済)	1
キャッシュカード窃取型	3
その他	-
合計	42